

令和4年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

昭和中学校区 校番 24 学校名 呉市立昭和中央小学校

<p>a 学校教育目標</p> <p>自ら伸びる みんなで伸びる ～笑顔いっぱい中央小めざして～</p>	<p>b 経営理念</p> <p>ミッション・ビジョン</p>	<p><ミッション>(学校の使命)</p> <ul style="list-style-type: none"> 未来を切り拓く子供の育成 <p><ビジョン>(将来の学校像)</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰からも愛される学校 <p>～子供が育つ学校 教職員が協働している学校 保護者・地域が期待する学校～</p>
--	---------------------------------	---

<p>c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点</p>	<p>令和元年度から小中一貫教育研究指定校として、「自他を大切に、主体的に学ぶ児童」と研究主題を設定し、取組を進めてきた。昨年度は、今までの研究の集大成として、研究公開を行い、成果を発表した。まず、「確かな学力」に関しては、学力の向上を図るために、「昭和学びのスタイル」を生かした授業改善に取り組んだ。さらに、帯タイムや個別指導等を学校全体で行い、基礎学力の定着を図った。しかし、12月に行った標準学力検査の結果では、県や全国平均を下回る学年が複数あり、学力の定着が十分とは言えない。今後も児童の実態を把握し、取組を継続して行く。次に、「豊かな心」に関しては、自己有用感の育成を図るために、「優しさあふれる中央小をめざして」を合言葉に、地域とのつながりを大切に、生活科及び総合的な学習の時間、道徳教育の充実を図っている。コロナ禍の中で、思うような活動ができにくい面もあるが、その中でも児童の姿に取組の成果が感じられる。今後もコロナ禍でも取り組める活動を考えながら、工夫して行く。「健やかな体」に関しては、基本的な生活習慣の確立、体力の向上を図るために、投力・走力の向上、防災教育、望ましい生活リズムの育成に取り組んだ。「豊かな心」と同様に、コロナ禍で思うようにできにくいのが、感染症対策を講じながら継続して取り組みたい。「業務改善」に関しては、月や学期毎の学校評価の振り返りや研修、声掛けを基に、教職員の意識を高めてきた。今後も継続し、さらに意識を高め、全員の達成を目指す。</p>
-------------------------------------	---

<p>育成を目指す資質・能力</p>	<p>知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体性・協働する力</p>
--------------------	------------------------------------

評価計画(中期経営目標を設定してから①・2・3年目)					自己評価						
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	上半期			下半期		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
***	確かな学力 学力の向上を図る。	基礎学力の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 学力調査等の結果を基に課題を整理・分析し、指導の重点化を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ○チャレンジタイム ○標準学力調査 ○全国学力・学習状況調査 帯タイム、放課後個別指導、乗り入れ授業等、確実に実施する。 定期的に活用問題に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> 国語科の学期末テストにおいて、正答率40%以上の児童の割合 	95%	98	103	A			
				<ul style="list-style-type: none"> 算数科の学期末テストにおいて、正答率40%以上の児童の割合 	95%	96	101	A			
				<ul style="list-style-type: none"> 算数科の全単元テストの平均点80点以上の児童の割合 	80%	66	83	B			
				<ul style="list-style-type: none"> 「タブレットを使うことは勉強に役立つ」と肯定的評価をした児童の割合 	95%	97	102	A			
				<ul style="list-style-type: none"> 「授業に対して満足している」と肯定的評価をした児童の割合(気持ちをもって、進んで学習をしている) 	90%	94	104	A			
			<ul style="list-style-type: none"> 「友達の意見や考えをよく聴いている」と肯定的評価をした児童の割合 	90%	96	107	A				
			<ul style="list-style-type: none"> 「自分の考えを伝えることができる」と肯定的評価をした児童の割合 	90%	86	96	B				
		家庭学習の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 中学校校区で定めた「学年×10分以上」の家庭学習に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年に応じた家庭学習時間の達成率(調査月:7月、12月) 	90%	92	102	A			
**	豊かな心 自己肯定感の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ルールやマナー等規範意識を身に付ける指導の徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活規律の重点3項目の徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「整理整頓ができた」…自己評価(机、机の中、ロッカー) 	90%	88	98	B			
				<ul style="list-style-type: none"> 「返事、あいさつができた」…自己評価(自分から、元気に) 	90%	94	104	A			
				<ul style="list-style-type: none"> 「時間を守れた」…自己評価(登下校、チャイム) 	95%	95	100	A			
				<ul style="list-style-type: none"> ●重点3項目に対する教師の自己評価 	90%	80	89	B			
				<ul style="list-style-type: none"> 「あたたかい聴き方・やさしい話し方」ができる…自己評価 	95%	95	100	A			
				<ul style="list-style-type: none"> 「自分のことを分かってくれる友達がいる」…自己評価 	90%	90	100	A			
				<ul style="list-style-type: none"> 「自分には良いところがある」…自己評価 	90%	89	99	B			
			<ul style="list-style-type: none"> 「将来の夢や目標をもっている」…自己評価 	85%	92	108	A				
*	健やかな体 基本的な生活習慣の確立と体力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ルールやマナー等規範意識を身に付ける指導の徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級ごとに「くれ・チャレンジマッチ・スタジアム」へ参加する。(朝の学級総量の時間の活用) 全校外遊びの時間を設定し、運動環境・用具の充実を図る。 体育科の授業改善を図る。(運動量の確保) 	<ul style="list-style-type: none"> 「くれ・チャレンジマッチ・スタジアム」への学級参加率 	100%	0	0	D			
				<ul style="list-style-type: none"> 「大休憩進んで外遊びをした」…自己評価 	90%	87	97	B			
				<ul style="list-style-type: none"> 運動量の確保をきちんとしたか…教師評価 	90%	72	80	B			
		<ul style="list-style-type: none"> 安全(防災)に対する意識の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活安全、交通安全について重点項目の徹底を図る。 防災教育を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「廊下の右側を静かに歩いた」…自己評価 	90%	89	99	B			
				<ul style="list-style-type: none"> 「交通ルールを守り、安全な登下校を心がけた」…自己評価 	100%	97	97	B			
				<ul style="list-style-type: none"> 全学年、防災についての学習を計画実施 	100%	100	100	A			
		<ul style="list-style-type: none"> 望ましい生活リズムの育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「早寝、早起き、朝ごはん」の指導の充実を図る。 生活リズムの確立に向けて保護者への啓発に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 「早寝、早起きを心がけた」…自己評価 	90%	88	98	B			
				<ul style="list-style-type: none"> 「毎日朝食を食べた」…自己評価 	100%	94	94	B			
業務改善	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の健康を守り、研鑽時間を確保して、授業力向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 業務の改善を図るとともに、業務改善への教職員の意識改革を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 業務のやり方を見直し、効率化を図る。 ICT機器の効率的な活用を推進する。 会議内容の精選と時間短縮に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童と向き合う時間が確保されていると感じる教員の割合 	80%	84	105	A			
				<ul style="list-style-type: none"> 授業でタブレット端末を活用した教員の割合 	100%	88	88	B			
				<ul style="list-style-type: none"> 時間外勤務が月平均45時間を超えない教職員の人数 	100%	96	96	B			

【k:評価】
 A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100
 C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60

